

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成25年3月21日(2013.3.21)

【公開番号】特開2011-164360(P2011-164360A)

【公開日】平成23年8月25日(2011.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2011-034

【出願番号】特願2010-27062(P2010-27062)

【国際特許分類】

G 02 B 3/00 (2006.01)

G 01 M 11/02 (2006.01)

【F I】

G 02 B 3/00 A

G 01 M 11/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月1日(2013.2.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レンズエレメントを二次元状に複数隣接して配列し、該レンズエレメントの開口が光軸に対して直交するように配置されるレンズアレイにおいて、

前記レンズエレメントは、前記開口が正の屈折力を有し、かつ、隣接する前記レンズエレメントとの境界の少なくとも一部が曲線からなることを特徴とするレンズアレイ。

【請求項2】

請求項1記載のレンズアレイにおいて、前記レンズエレメントは少なくとも光軸方向に平行する面の断面形状が前記開口の全面にわたって突弧状に盛り上げられた形状に形成されることを特徴とするレンズアレイ。

【請求項3】

請求項1又は請求項2に記載のレンズアレイにおいて、二次元状に隣接して配列される複数のレンズエレメントがいずれもその平面形状が同一であることを特徴とするレンズアレイ。

【請求項4】

請求項1乃至請求項3のいずれかに記載のレンズアレイにおいて、前記開口の対向する辺が曲線からなることを特徴とするレンズアレイ。

【請求項5】

請求項1乃至請求項3のいずれかに記載のレンズアレイにおいて、前記開口の隣接する辺が曲線からなることを特徴とするレンズアレイ。

【請求項6】

請求項2記載のレンズアレイにおいて、前記開口の断面形状が一面のみ突弧状に盛り上げられることを特徴とするレンズアレイ。

【請求項7】

請求項2記載のレンズアレイにおいて、前記開口の断面形状が両面とも突弧状に盛り上げられることを特徴とするレンズアレイ。

【請求項8】

請求項1乃至請求項7のいずれかに記載のレンズアレイを備え、前記レンズエレメン

トの各焦点の位置に撮像素子を設けたことを特徴とする波面センサ。

【請求項 9】

請求項 8 記載の波面センサを備えることを特徴とする波面収差測定装置。